



2014年3月期 第3四半期 決算説明会

富士重工業株式会社

取締役専務執行役員CFO 高橋 充

2014年2月4日

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>



2014年3月期 第3四半期決算 サマリー

2014年3月期 第3四半期累計業績

- 日本や北米等において、フォレスターを中心に好調な販売が続き、連結販売台数は9ヶ月累計期間として過去最高となる593千台を記録
- 為替レート差に加え、販売台数増加による売上構成差の改善や、原価低減の進捗により売上高、各利益ともに過去最高を記録

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	連結販売台数
実績 (対前年実績)	1兆7,085億円 (+3,378億円)	2,334億円 (+1,600億円)	2,214億円 (+1,580億円)	1,815億円 (+1,284億円)	593.4千台 (+66.8千台)

2014年3月期 通期計画

- 連結販売台数、売上高、各利益ともに過去最高を計画
- 日米市場等での台数増による売上構成の改善や、為替前提を見直したことにより、前回計画から売上高、各利益ともに上方修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	連結販売台数
計画 (対前年実績)	2兆3,800億円 (+4,670億円)	3,100億円 (+1,896億円)	2,940億円 (+1,934億円)	2,210億円 (+1,014億円)	829.3千台 (+104.8千台)



2014年3月期 第3四半期 実績



第3四半期累計 連結完成車販売台数

(千台)

	2013年3月期 3Q累計 実績	2014年3月期 3Q累計 実績	増減
登録車	76.9	86.9	+10.0
軽自動車	34.7	37.0	+2.3
国内合計	111.5	123.9	+12.3
米国	259.4	326.4	+67.0
カナダ	23.6	27.2	+3.6
ロシア	13.3	9.5	▲3.8
欧州	34.9	23.5	▲11.4
豪州	28.3	29.6	+1.4
中国	40.3	29.6	▲10.7
その他	15.3	23.8	+8.4
海外合計	415.1	469.5	+54.5
合計	526.6	593.4	+66.8

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算1~9月 3

2014年3月期 第3四半期累計の連結販売台数は、主に米国や国内市場などにおいて、好調な販売が継続していることから、第3四半期累計期間として過去最高となる、59万3千4百台となりました。

国内市場では、フォレスターやインプレッサでの販売台数増加に加え、軽自動車においてもステラやプレオでの商品力強化が寄与し、前年同期比1万2千3百台の増加となる、12万3千9百台となりました。

海外市場においても、フォレスター、インプレッサが、米国、カナダ、豪州等での販売拡大を牽引し、5万4千5百台の増加となる、46万9千5百台となりました。



第3四半期累計 連結業績

(億円)

	2013年3月期 3Q累計 実績	2014年3月期 3Q累計 実績	増減
売上高	13,707	17,085	+3,378
国内	4,823	4,788	▲35
海外	8,884	12,297	+3,413
営業利益	734	2,334	+1,600
経常利益	634	2,214	+1,580
税前利益	617	2,671	+2,054
当期純利益	531	1,815	+1,284
単独為替レート	¥80/US\$	¥98/US\$	+¥19/US\$

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

4

第3四半期累計期間の連結業績です。

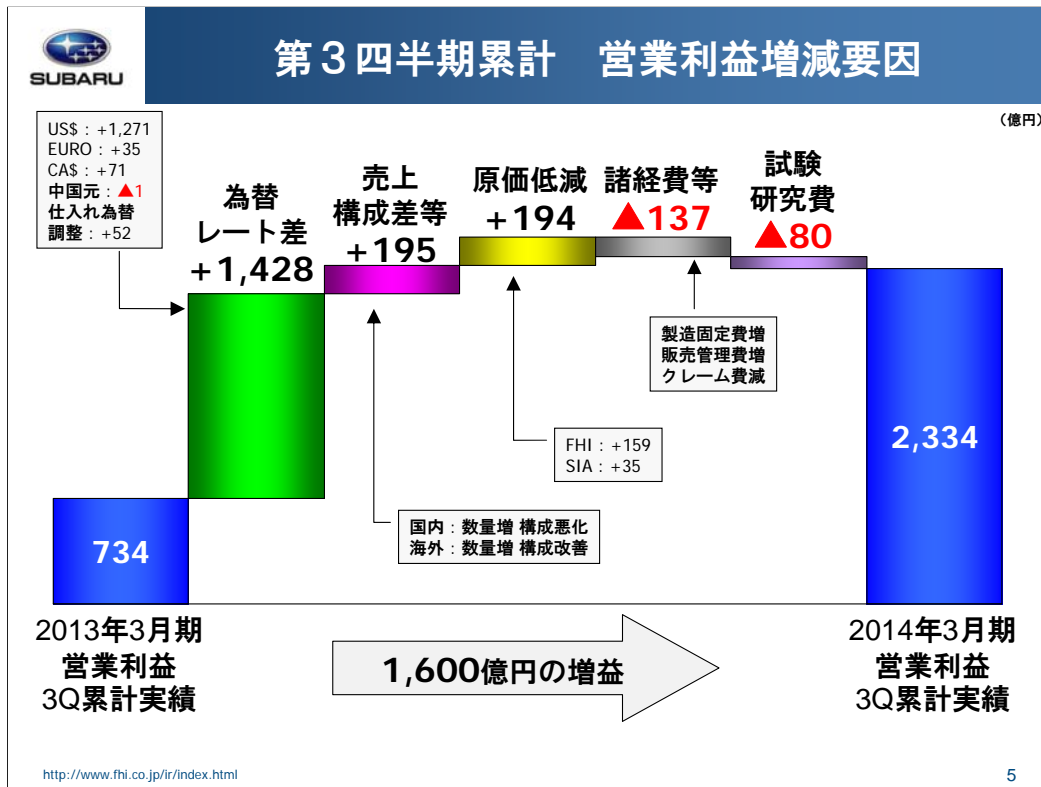
売上高、各利益ともに、9ヶ月累計期間として過去最高を記録しました。

売上高は、為替レート差+2,128億円に加え、新車販売台数増加による売上構成差の改善+1,229億円、カンパニー等による増収+21億円により、前年同期比3,378億円の増収となる、1兆7,085億円となりました。

営業利益につきましては、諸経費、試験研究費の増加を、為替レート差、売上構成差の改善、原価低減の進捗により打ち消し、1,600億円の増益となる、2,334億円となりました。

税前利益につきましては、投資有価証券の売却益を計上したことから、2,054億円の増益となる、2,671億円となりました。

当期純利益は、1,284億円の増益となる、1,815億円となりました。



昨年度734億円から今年度2,334億円へと、1,600億円の増益となった、営業利益増減要因です。

増益要因は、

<1>為替レート差で+1,428億円です。

USドルは約19円の円安で+1,271億円です。ユーロは約28円の円安で+35億円、カナダドルは約16円の円安で+71億円です。富士重工と海外子会社の仕入れ為替調整は+52億円となりました。また、その他に中国元-1億円を計上しています。

<2>売上構成差等で+195億円です。内訳は3つに分かれます。

①新車国内は+38億円です。レガシィのモデル経年化により構成は前年を下回りましたが、フォレスター、インプレッサの販売拡大により国内全体では前年実績を上回りました。

②新車海外は+292億円です。北米市場を中心に、好調な販売が続くフォレスターがけん引役となり、数量・構成ともに改善しました。

③その他在庫調整等で-135億円です。

<3>原価低減で+194億円です。

そのうち、富士重工が+159億円、SIAは+35億円です。富士重工では生産台数の増加等により、原価低減が+157億円、原材料・市況等については+2億円となりました。SIAでは原価低減が+27億円、原材料等は+8億円となりました。

減益要因は、

<4>諸経費等の増で-137億円です。内訳は3つに分かれます。

①製造固定費の増加により-1億円です。そのうち、富士重工が-21億円、SIAは+20億円です。富士重工では、外製型費の増により-11億円、固定加工費も増加し-10億円です。SIAでは、外製型費の減少により+20億円となりました。

②販売管理費の増加で-175億円です。富士重工では、広告宣伝費等や、販売台数増加に伴う運賃梱包費などの費用増により-67億円となりました。国内ディーラーは-19億円、SOAは-89億円、カナダ子会社は-17億円、その他で+17億円です。

③クレーム費の減で+39億円です。

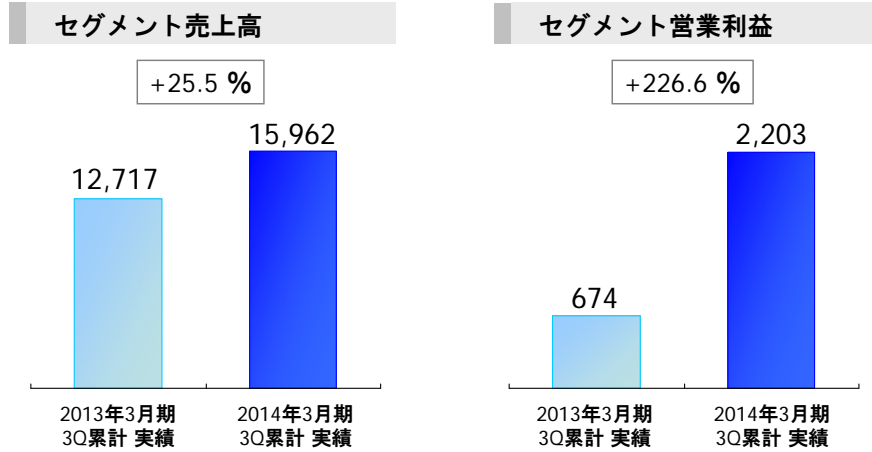
<5>試験研究費の増加で-80億円です。

以上で、2014年3月期 第3四半期累計連結営業利益は、1,600億円の増益となる、2,334億円となりました。



第3四半期累計 自動車部門 セグメント業績

(億円)



- 日米市場等での販売台数増加や為替レート差等により増収
- 諸経費等コスト増加分を台数増や原価低減の進捗により打ち消し増益

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

6

事業セグメント別業績です。

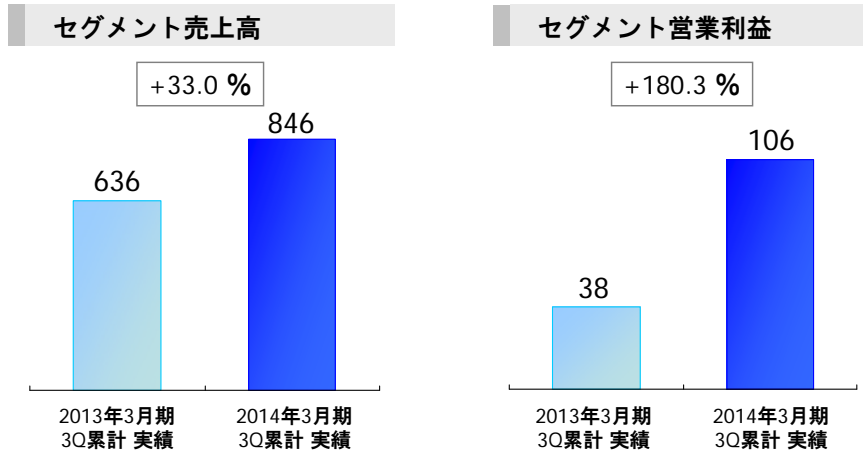
自動車セグメントにおいては、欧州や中国での販売台数減少を、日米市場等での販売台数増加・構成改善に加え、為替レート差2,016億円等により打ち消し、セグメント売上高は、前年同期比3,245億円の増収となる、1兆5,962億円となりました。

セグメント営業利益につきましては、販売管理費や試験研究費などのコスト増加はありましたが、日米での販売台数増加や原価低減が進捗したことに加え、為替レート差1,269億円等もあったことから、1,528億円の増益となる、2,203億円となりました。



第3四半期累計 航空宇宙部門 セグメント業績

(億円)



- セグメント売上高、営業利益ともに増収増益
- 防衛需要、民間需要ともに売上が増加し、為替レート差も寄与

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

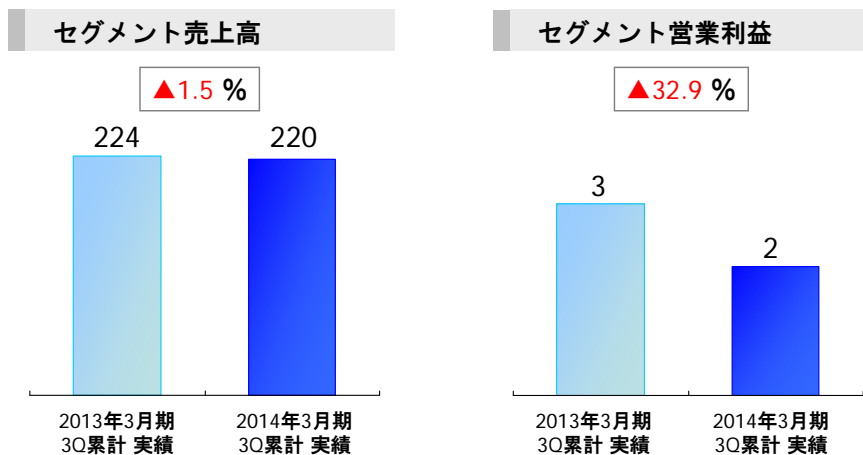
7

航空宇宙セグメントでは、ボーイング777や787などの民間需要向けや、防衛需要向けでの売上増加に加え、為替レート差も寄与したことから、セグメント売上高は、前年同期比210億円の増収となる、846億円、セグメント営業利益は、68億円の増益となる、106億円となりました。



第3四半期累計 産業機器部門 セグメント業績

(億円)



- セグメント売上高、営業利益ともに減収減益
- 国内・アジア向けエンジン等で販売拡大したものの、北米向けレジャー用エンジンの販売が減少

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

8

産業機器事業セグメントにおいては、為替の円高是正に加え、国内やアジア向けエンジン等での売り上げ増加はありましたが、北米向けレジャー用エンジンの販売が減少し、セグメント売上高は、前年同期比3億円の減収となる、220億円、セグメント営業利益は、1億円の減益となる2億円となりました。



第3四半期累計 連結営業外収支 / 特別損益

	2013年3月期 3Q累計 実績	2014年3月期 3Q累計 実績	増減
金融収支	▲8	1	+8
為替影響	▲79	▲108	▲28
その他	▲12	▲12	+0
営業外収支	▲99	▲119	▲20
投資有価証券売却益	5	472	+468
固定資産除売却損	▲16	▲17	▲1
その他	▲6	1	+7
特別損益合計	▲17	457	+474

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

9

営業外収支、特別損益の状況です。

営業外収支につきましては、前年同期比で20億円の損方向となる、119億円の損となりました。そのうち、金融収支は1億円の益、為替影響は108億円の損となりました。

為替影響は主に、①デリバティブ関連の評価損益と、②為替差損益の2つに分かれますが、①デリバティブ評価損益においては、前年同期64億円の損が、48億円の益方向となり、16億円の損となりました。②為替差損益では、海外子会社換算差額が前年同期比で52億円の損方向となったことに加え、売上 / 入金レートの差額等で25億円の損方向となり、合計で77億円の損方向となる、92億円の損となりました。

特別損益では、投資有価証券売却益472億円を計上したこともあり、前年同期比474億円の益方向となる、457億円の益となりました。



連結貸借対照表

(億円)

	2013年3月末	2013年12月末	増減
総資産	15,775	17,859	+2,085
流動資産	9,440	11,565	+2,124
固定資産	6,334	6,295	▲39
有利子負債	3,072	2,760	▲312
純資産合計	5,968	7,643	+1,675
利益剰余金	3,014	4,595	+1,581
自己資本	5,954	7,612	+1,658
自己資本比率	37.7%	42.6%	+4.9
D/Eレシオ	0.52	0.36	▲0.15

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

10

バランスシートについてです。

2013年12月末の総資産は、1兆7,859億円と、前年度3月末から2,085億円の増加となりました。販売台数拡大による、当期純利益の増加や、為替影響+596億円などが寄与しました。

有利子負債につきましては、借入金の返済が進み、312億円の減少となる、2,760億円となりました。純資産は、利益剰余金が増えたこと等から、1,675億円の増となる、7,643億円となりました。

自己資本比率は、前年度末から4.9ポイント上昇し、42.6%、D/Eレシオは、0.15改善し、0.36となりました。



第3四半期累計 連結キャッシュフロー

(億円)

	2013年3月期 3Q累計 実績	2014年3月期 3Q累計 実績	増減
営業活動CF	1,113	2,215	+1,102
投資活動CF	▲467	▲121	+345
フリーCF	646	2,094	+1,447
財務活動CF	▲439	▲547	▲108
換算差額	45	145	+99
手元資金増減	252	1,691	+1,438
現金及び現金同等物の 期首残高	2,581	3,289	+709
連結範囲の変更に伴う現金 及び現金同等物の増減額	213	1	▲212
手元資金合計	3,046	4,982	-

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

11

連結キャッシュフローの状況です。

営業活動によるキャッシュフローにつきましては、業績拡大によって税前純利益が増加したことに加え、為替の円高修正が進んだこと等から、前年同期比1,102億円の増加となる、2,215億円となりました。

投資活動のキャッシュフローにつきましては、計画に則った生産能力増強などの投資活動を進める一方で、投資有価証券を売却したことから、345億円の増加となる、-121億円となりました。

フリーキャッシュフローは1,447億円の増加で、2,094億円となりました。

財務活動によるキャッシュフローは、借入金の返済や配当の支払い等から、108億円の減少となる、-547億円となりました。

手元資金残高につきましては、4,982億円となりました。



第3四半期累計 海外子会社業績

(Million US\$)

SOA	2013年3月期 3Q累計 実績	2014年3月期 3Q累計 実績	増減
売上高	6,385	8,115	+1,730
営業利益	130	199	+69
当期純利益	85	123	+38
小売販売台数(千台)	254.9	331.0	+76.1

SIA	2013年3月期 3Q累計 実績	2014年3月期 3Q累計 実績	増減
売上高	3,021	2,817	▲204
営業利益	30	162	+132
当期純利益	19	102	+83
スバル生産台数(千台)	131.7	119.7	▲12.0

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

12

SOAの小売販売は、新型フォレスターとXVが好調な販売を継続、対前年7万6千1百台増の33万1千台となりました。

売上高についても、\$1,730Mの増収となる\$8,115Mとなりました。営業損益につきましては、数量・構成差+\$181M、販管費の増-\$112Mにより、\$69Mの増益となる、\$199Mとなりました。

SIAの売上高は、対前年-\$204Mの\$2,817Mとなりました。営業損益は、数量価格構成差+\$63M、原価低減活動+\$44M、固定費減+\$25Mにより、対前年+\$132Mとなる\$162Mとなりました。

2014年3月期 見通し



通期計画 連結完成車販売台数

	2013年3月期 実績	2014年3月期 計画	増減
登録車	112.8	135.0	+22.3
軽自動車	50.4	53.8	+3.4
国内合計	163.1	188.8	+25.7
米国	357.6	439.8	+82.3
カナダ	32.6	36.0	+3.4
ロシア	14.7	15.4	+0.7
欧州	46.4	31.9	▲14.5
豪州	38.1	39.1	+1.0
中国	50.2	44.8	▲5.4
その他	21.7	33.4	+11.7
海外合計	561.3	640.5	+79.1
合計	724.5	829.3	+104.8

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算1~12月 14

2014年3月期 通期の連結販売台数につきましては、過去最高となる82万9千3百台を計画します。

国内市場では、引き続きフォレスター、インプレッサの販売が堅調に推移するとみて、前年同期比2万5千7百台の増加となる、18万8千8百台を見込みます。

海外市場においては、北米市場等での好調な販売を見込み、7万9千1百台の増加となる、64万5百台を計画します。

尚、第2四半期決算時に発表した前回計画に比べては、国内で登録車を中心に1万8千9百台、海外では米国での台数増を見込み3千1百台の、合計2万2千台の増加を見込んでいます。



通期計画 連結業績

(億円)

	2013年3月期 実績	2014年3月期 計画	増減
売上高	19,130	23,800	+4,670
国内	6,718	6,495	▲223
海外	12,411	17,305	+4,893
営業利益	1,204	3,100	+1,896
経常利益	1,006	2,940	+1,934
税前利益	931	3,331	+2,400
当期純利益	1,196	2,210	+1,014
単独為替レート	¥82/US\$	¥99/US\$	+¥17/US\$

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

15

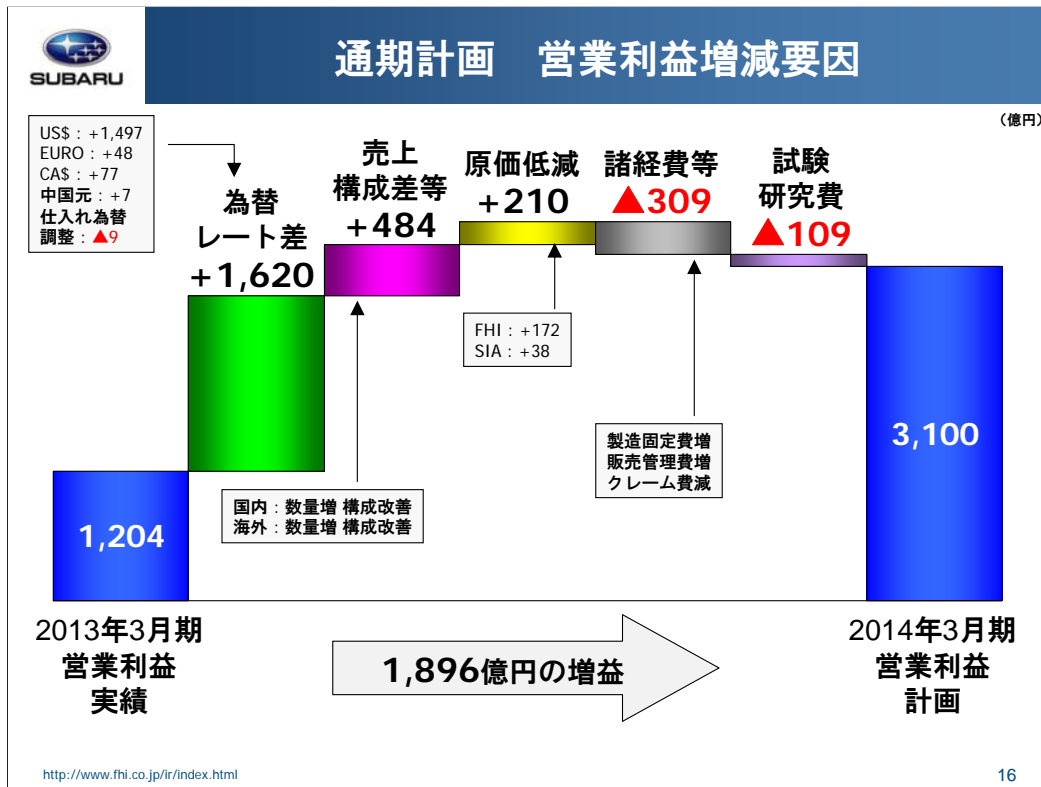
連結業績計画です。

売上高は、為替レート差2,653億円に加え、北米を中心とした売上構成差の改善1,804億円、カンパニー等での増収213億円により、前年同期比4,670億円の増収となる、2兆3,800億円を計画します。

営業利益につきましては、諸経費や試験研究費の増加を、為替レート差や売上構成の改善、原価低減の進捗により打ち消し、1,896億円の増益となる3,100億円を見込みます。

税前利益は、投資有価証券の売却益を計上していることから、2,400億円増益の3,331億円、当期純利益につきましては、繰延税金資産の再計上を行った前期に対し、今期は通常税金費用を見込むことで、1,014億円の増益となる、2,210億円を計画しています。

尚、前回発表の業績計画に対しては、売上高で800億円、営業利益で320億円、経常利益、税前利益はともに220億円、当期純利益では140億円の上方修正を行っています。



続いて、前年度実績1,204億円から今年度計画3,100億円へと、1,896億円の増益となる、営業利益増減要因です。増益要因は、

<1>為替レート差で+1,620億円です。

USドルは約16円の円安で+1,497億円です。ユーロは約27円の円安で+48億円です。カナダドルは約13円の円安で+77億円、中国元では+7億円です。富士重工と海外子会社の仕入れ為替調整で-9億円を見込みます。

<2>売上構成差等で+484億円です。内訳は3つに分かれます。

①新車国内は+36億円です。フォレスターやインプレッサでの拡販による数量増、構成改善を見込みます。

②新車海外は+485億円です。北米での販売台数増や、各市場でフォレスターの堅調な販売が見込まれ、数量・構成ともに改善する計画です。

③その他在庫調整等で-37億円です。

<3>原価低減で+210億円です。

そのうち、富士重工が+172億円、SIAでは+38億円を計画します。富士重工では原価低減で+210億円、原材料・市況等の値上がりで-38億円を見込みます。SIAにつきましては原価低減で+29億円、原材料価格において+9億円としています。

一方、減益要因は、

<4>諸経費等の増で-309億円です。内訳は3つに分かれます。

①製造固定費の増が-19億円です。その内訳は、富士重工が-48億円、SIAは+29億円です。富士重工では、外製型費が-8億円、固定加工費は-40億円です。SIAでは、外製型費が+28億円、固定加工費で+1億円としています。

②販管費の増で-327億円です。富士重工で-88億円、国内ディーラーは-22億円、SOAでは-174億円、カナダ子会社で-26億円、その他で-17億円を見込みます。

販売台数増加に伴う費用増加や、米国などでは将来に向けた販売体制強化に取り組んでいきます。

③クレーム費の減で+37億円です。

<5>試験研究費の増で-109億円です。

以上で、2014年3月期の連結営業利益は、対前年1,896億円の増益となる、3,100億円を計画しています。



通期計画 海外子会社業績

(Million US\$)

SOA	2013年3月期 実績	2014年3月期 計画	増減
売上高	8,805	10,935	+2,130
営業利益	133	175	+42
当期純利益	97	109	+12
小売販売台数(千台)	347.1	435.1	+88.0

SIA	2013年3月期 実績	2014年3月期 計画	増減
売上高	4,158	3,839	▲319
営業利益	71	257	+186
当期純利益	46	155	+109
スバル生産台数(千台)	181.2	163.5	▲17.7

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

17

SOAの通期小売販売は、好調なモメンタムを維持し、対前年8万8千台増の43万5千1百台を目指します。

売上高は対前年+\$2,130Mの\$10,935Mを見込みます。営業損益につきましては、数量・構成差+\$249M、販管費の増-\$207Mにより、対前年+\$42Mの\$175Mを計画します。

SIAの売上高は、前年に対し、-\$319Mの\$3,839Mを見込みます。

営業損益は、数量価格構成差+\$105M、原価低減活動+\$46M、固定費減+\$35Mにより、対前年+\$186Mとなる\$257Mを見込みます。



設備投資・減価償却費・試験研究費・有利子負債

(億円)

	2013年3月期		2014年3月期		増減 (b) - (a)
	3Q累計 実績	通期 実績 (a)	3Q累計 実績	通期 計画 (b)	
設備投資	484	702	412	720	+18
減価償却費	389	559	394	550	▲9
試験研究費	353	491	433	600	+109
有利子負債	3,236	3,072	2,760	2,700	▲372

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

18

設備投資、減価償却費、試験研究費、有利子負債につきましては、
通期計画の前回からの変更はございません。

今年夏に予定している本工場での能力増強や、環境対応技術野強化など、
計画に則った投資活動を行ってまいります。

ご参考 (1)

- ・ セグメント情報(事業別 / 所在地別)
- ・ 海外売上高
- ・ 単独販売台数
- ・ 第3四半期(3ヶ月)業績
- ・ 下期業績計画
- ・ 通期業績計画 前回計画との差



第3四半期累計 事業セグメント別業績

(億円)

	売上高			営業利益		
	2013年 3月期 3Q累計 実績	2014年 3月期 3Q累計 実績	増減	2013年 3月期 3Q累計 実績	2014年 3月期 3Q累計 実績	増減
自動車	12,717	15,962	+3,245	674	2,203	+1,528
航空宇宙	636	846	+210	38	106	+68
産業機器	224	220	▲3	3	2	▲1
その他	130	56	▲73	15	18	+3
消去・全社	/	/	/	4	4	+1
合計	13,707	17,085	+3,378	734	2,334	+1,600

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

20



第3四半期累計 所在地別セグメント業績

(億円)

	売上高			営業利益		
	2013年 3月期 3Q累計 実績	2014年 3月期 3Q累計 実績	増減	2013年 3月期 3Q累計 実績	2014年 3月期 3Q累計 実績	増減
日本	6,600	6,839	+238	595	2,038	+1,443
北米	5,859	9,084	+3,225	146	434	+288
その他	1,248	1,163	▲86	▲2	▲5	▲3
消去・全社	/	/	/	▲6	▲133	▲128
合計	13,707	17,085	+3,378	734	2,334	+1,600

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

21



第3四半期累計 連結海外売上高

(億円)

	2013年3月期 3Q累計 実績	2014年3月期 3Q累計 実績	増減
北米	6,273	9,640	+3,367
欧州	960	837	▲124
アジア	880	916	+36
その他	771	904	+133
合計	8,884	12,297	+3,413



第3四半期累計 単独販売台数

(千台)

	2013年3月期 3Q累計 実績	2014年3月期 3Q累計 実績	増減
国内生産	425.6	482.3	+56.7
国内売上	119.4	131.2	+11.8
登録車	84.5	90.9	+6.5
軽自動車	34.9	40.3	+5.4
輸出台数	284.6	371.6	+87.0
海外生産用部品	136.0	124.3	▲11.6
単独売上合計	539.9	627.2	+87.3

※ 国内生産台数にはトヨタ86を含む

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

23



第3四半期(3ヶ月) 連結完成車販売台数

(千台)

	2013年3月期 3Q 実績	2014年3月期 3Q 実績	増減
登録車	31.5	25.1	▲6.4
軽自動車	8.1	11.4	+3.3
国内合計	39.6	36.5	▲3.0
米国	95.0	117.5	+22.4
カナダ	7.3	8.5	+1.2
ロシア	2.2	2.7	+0.5
欧州	9.5	8.1	▲1.4
豪州	6.2	8.3	+2.1
中国	13.7	10.6	▲3.1
その他	4.7	8.4	+3.8
海外合計	138.6	164.2	+25.6
合計	178.2	200.8	+22.6

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算7~9月 24



第3四半期(3ヶ月) 連結業績

(億円)

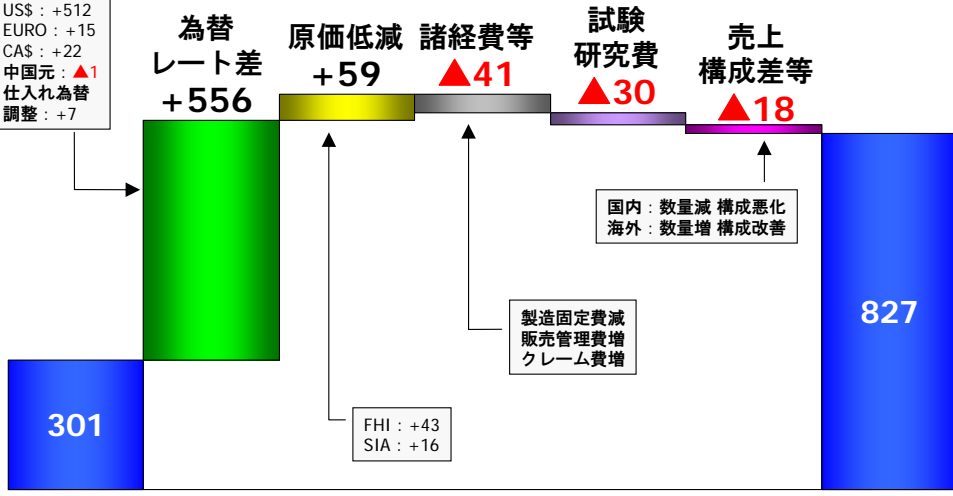
	2013年3月期 3Q 実績	2014年3月期 3Q 実績	増減
売上高	4,727	5,829	+1,102
国内	1,725	1,482	▲243
海外	3,002	4,347	+1,345
営業利益	301	827	+525
経常利益	181	752	+571
税前利益	159	1,218	+1,059
当期純利益	127	817	+690
単独為替レート	¥79/US\$	¥99/US\$	+¥20/US\$



第3四半期(3ヶ月) 営業利益増減要因

(億円)

US\$: +512
EURO : +15
CA\$: +22
中国元 : ▲1
仕入れ為替調整 : +7



2013年3月期
営業利益
3Q実績

525億円の増益

2014年3月期
営業利益
3Q実績

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

26



下期計画 連結完成車販売台数

(千台)

	2013年3月期 下期 実績	2014年3月期 下期 計画	増減
登録車	67.4	73.3	+5.9
軽自動車	23.8	28.2	+4.4
国内合計	91.1	101.5	+10.3
米国	193.2	230.9	+37.7
カナダ	16.3	17.3	+1.0
ロシア	3.6	8.6	+5.0
欧州	21.0	16.5	▲4.5
豪州	16.1	17.8	+1.8
中国	23.6	25.9	+2.3
その他	11.0	18.1	+7.0
海外合計	284.9	335.2	+50.3
合計	376.0	436.6	+60.6

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算7~12月 27



下期計画 連結業績

(億円)

	2013年3月期 下期 実績	2014年3月期 下期 計画	増減
売上高	10,149	12,544	+2,394
国内	3,621	3,189	▲431
海外	6,529	9,354	+2,825
営業利益	772	1,593	+821
経常利益	553	1,478	+925
税前利益	472	1,878	+1,406
当期純利益	791	1,212	+420
単独為替レート	¥84/US\$	¥99/US\$	+¥15/US\$

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

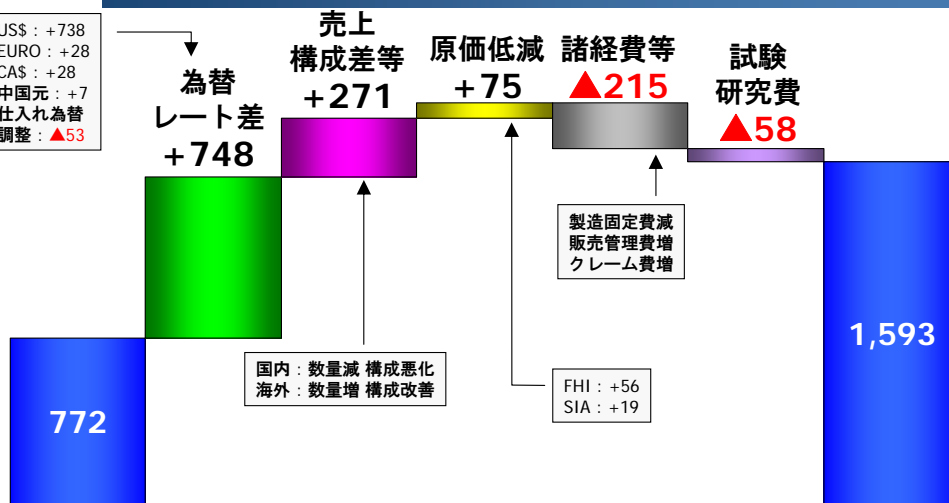
28



下期計画 営業利益増減要因

(億円)

US\$: +738
EURO : +28
CAS : +28
中国元 : +7
仕入れ為替調整 : ▲53



2013年3月期
営業利益
下期実績

821億円の増益

2014年3月期
営業利益
下期計画

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

29



通期計画 連結完成車販売台数 前回計画 vs. 今回計画

(千台)

	2014年3月期 前回 計画	2014年3月期 今回 計画	増減
登録車	116.3	135.0	+18.7
軽自動車	53.6	53.8	+0.2
国内合計	169.9	188.8	+18.9
米国	434.8	439.8	+5.0
カナダ	35.9	36.0	+0.1
ロシア	15.4	15.4	▲0.0
欧州	34.6	31.9	▲2.8
豪州	39.9	39.1	▲0.8
中国	44.2	44.8	+0.6
その他	32.5	33.4	+0.9
海外合計	637.4	640.5	+3.1
合計	807.3	829.3	+22.0

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算1~12月 30



通期計画 連結業績 前回計画 vs. 今回計画

(億円)

	2014年3月期 前回 計画	2014年3月期 今回 計画	増減
売上高	23,000	23,800	+800
国内	6,437	6,495	+58
海外	16,563	17,305	+742
営業利益	2,780	3,100	+320
経常利益	2,720	2,940	+220
税前利益	3,111	3,331	+220
当期純利益	2,070	2,210	+140
単独為替レート	¥97/US\$	¥99/US\$	+¥2/US\$

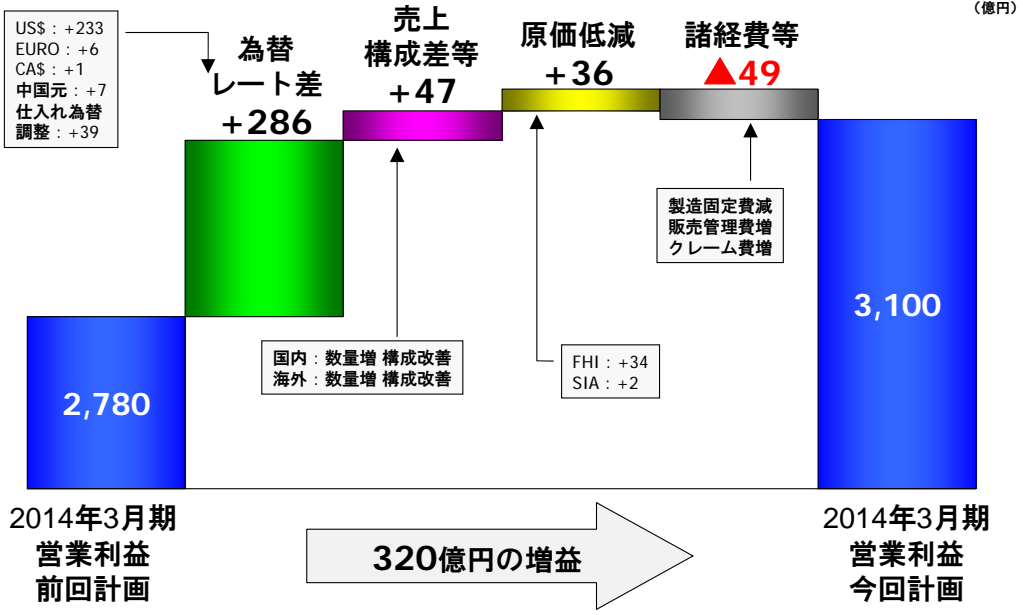
<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

31



通期計画 営業利益増減要因 前回計画 vs. 今回計画

(億円)



<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

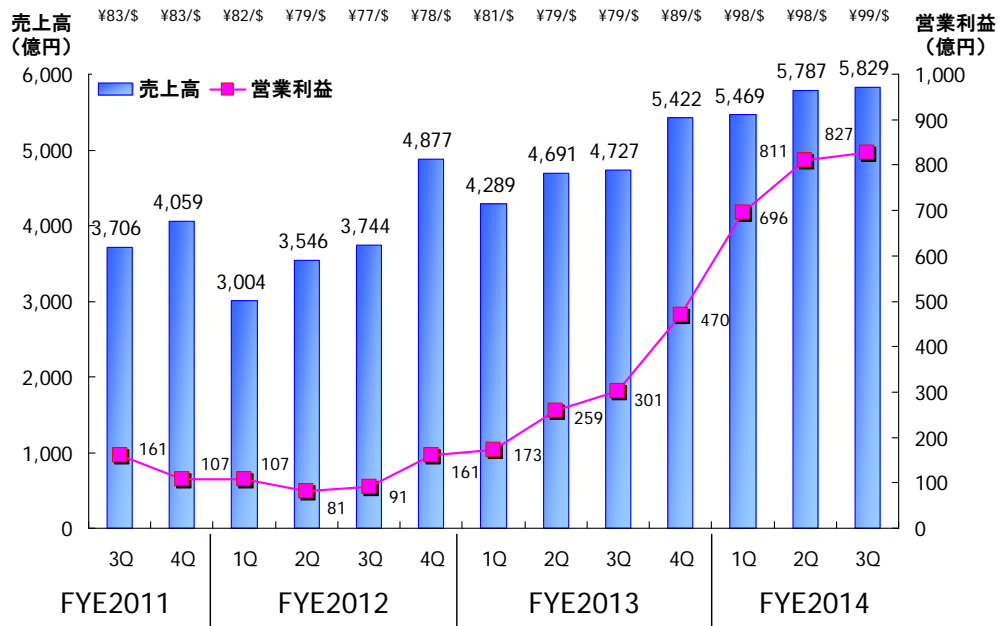
32

ご参考 (2)

- ・売上高 / 営業利益 推移
- ・連結販売台数 / 営業利益率 推移
- ・生産台数 / 小売台数 推移
- ・FCF / 自己資本比率 推移
- ・有利子負債 / D/Eレシオ 推移
- ・主な広報発表案件



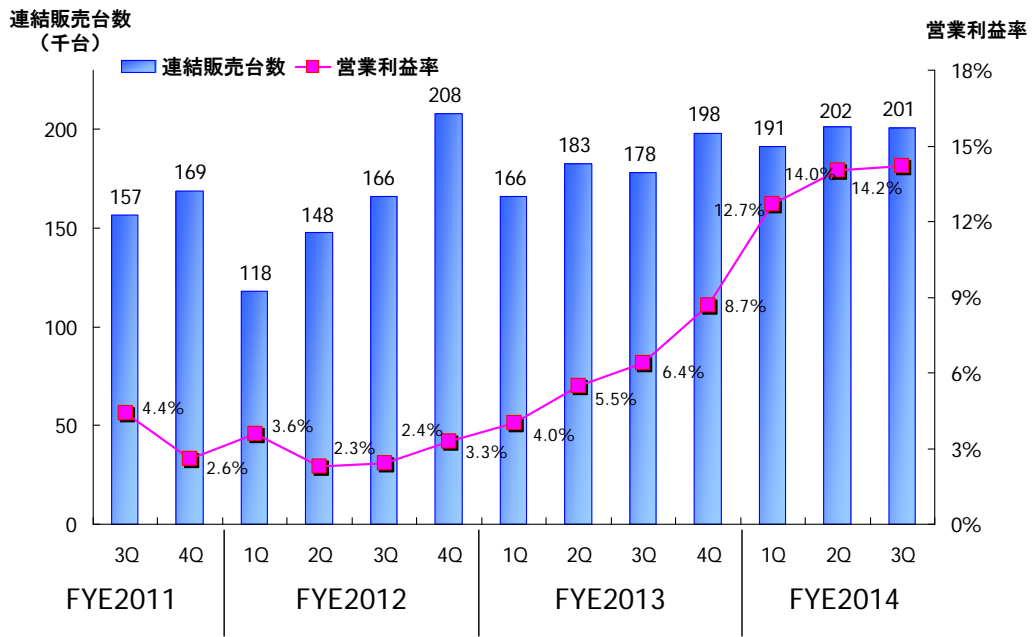
売上高 / 営業利益 推移



<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>



連結販売台数 / 営業利益率 推移



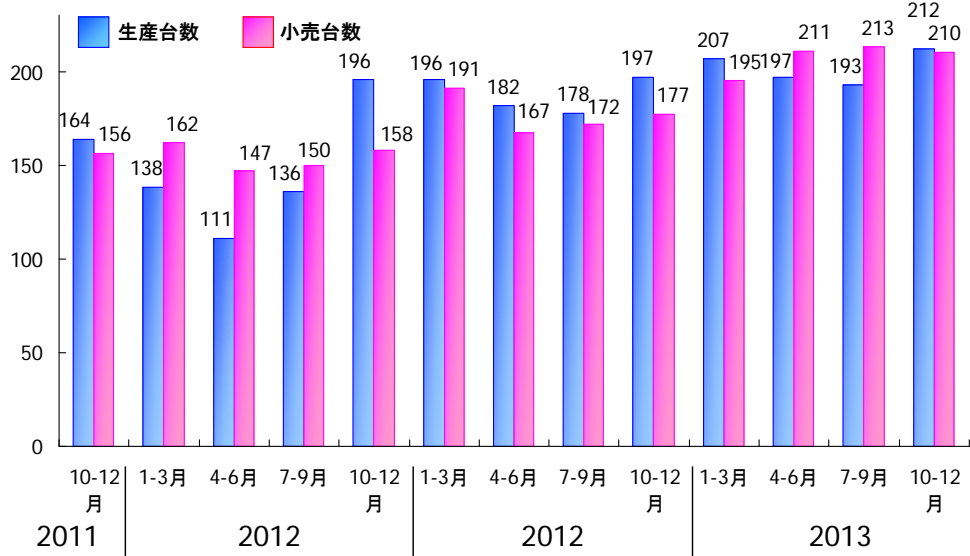
<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

35



生産台数 / 小売台数 推移

(千台)



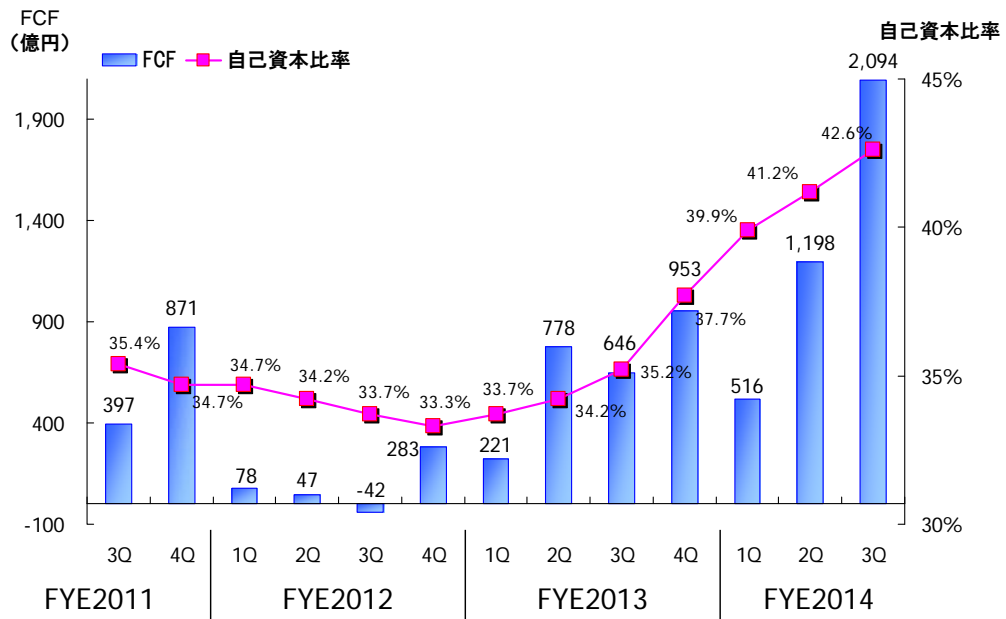
※ 生産台数にはトヨタ86を含む

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

36



FCF / 自己資本比率 推移

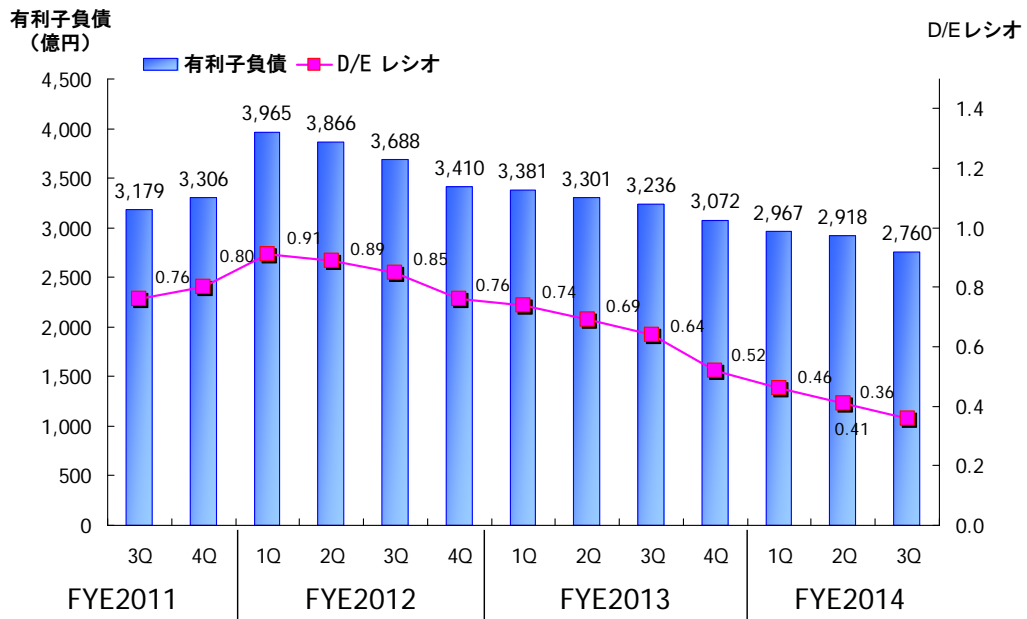


<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

37



有利子負債 / D/Eレシオ 推移



<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

38



第3四半期 主な広報発表案件

(発表日)

商品・技術関係

- 次世代「アイサイト (EyeSight)」を発表(10/2)
- BRZ 「Premium Sport Package」を発表、フォレスター、XV、インプレッサを改良(10/29)
- フォレスターライブ 世界五大陸 10万キロ走破達成(10/30)
- レガシィ コンセプト を2013年LAオートショーにて世界初公開(11/14)
- レヴォーグを世界初公開(11/20)
- 新型WRXを発表(11/21)
- アウトバック「Grand Master」、インプレッサ「2.0i-S Limited/2.0i-S Limited EyeSight」、フォレスター「X-BREAK」を発売(12/24)
- レヴォーグ先行予約を開始(12/27)

受賞関係

- フォレスターがグッドデザイン賞を受賞(10/1)
- フォレスターが米国モータートレンド誌の2014年SUV オブ・ザ・イヤーを受賞(10/11)
- 第18回「IR優良企業賞」を受賞(11/15)
- オートカラーアワード2014でエントリー2車種がともに受賞(12/16)
- 米国IIHSの2014年安全評価で「トップセイフティピック+」を3車種が獲得(12/25)

その他

- 2013 ジャパンカップサイクルロードレースを特別協賛(10/4)
- 東大生研、ボーイング、三菱重工、川崎重工、富士重工業 共同研究開発プロジェクトに新規加入(11/12)

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

39



本資料に記載されている計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報、予測に基づいた仮定、および判断であり、様々なリスクや不確実性を含みます。将来における当社の実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、需要や為替レートの変動などにより、これらと異なる結果となる場合がございます。従いまして、この見通しのみに全面的に依拠されることは避けて頂きますようお願い致します。

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>



SUBARU

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>